



2017年薄毛・白髪調査 報告書

2017年7月

(株)リクルートライフスタイル
ホットペッパービューティーアカデミー

調査概要	P.5	～	P.7
サマリー編	P.8	～	P.55
出現ボリューム	P.8	～	P.9
薄毛調査	P.10	～	P.30
白髪調査	P.31	～	P.52
薄毛調査⇔白髪調査	P.53	～	P.55



調査概要

A 調査概要 ～薄毛調査～

2017年 7月調査	調査目的	➤ 薄毛に関する実態や意識の把握、サロン利用活性化のヒントの導出										
	調査手法	➤ インターネット調査										
	対象者条件	➤ 全国20～69歳男女、現在薄毛である＆薄毛を気にしている										
	回収数	➤ スクリーニング：50000人 ※人口動態に基づき性年代を割付 ➤ 本調査：2063人 ※SCRでの出現率をもとにウェイトバックを実施										
		男性					女性					計
		20代	30代	40代	50代	60代	20代	30代	40代	50代	60代	
回収数		134	268	369	339	361	103	103	111	120	155	2063
WB後集計対象数		183	292	343	379	353	55	79	104	133	143	2063
実査期間	➤ スクリーニング：2017年7月7日～2017年7月10日 ➤ 本調査：2017年7月18日～2017年7月21日											

(人)

2016年 7月調査	調査目的	➤ 薄毛に関する実態や意識の把握、サロン利用活性化のヒントの導出										
	調査手法	➤ インターネット調査										
	対象者条件	➤ 全国20～69歳男女、現在薄毛である＆薄毛を気にしている										
	回収数	➤ スクリーニング：50000人 ※人口動態に基づき性年代を割付 ➤ 本調査：2154人 ※SCRでの出現率をもとにウェイトバックを実施										
		男性					女性					計
		20代	30代	40代	50代	60代	20代	30代	40代	50代	60代	
回収数		147	315	359	374	345	103	103	103	130	175	2154
WB後集計対象数		153	328	374	391	360	48	83	98	135	182	2154
実査期間	➤ スクリーニング：2016年7月11日～2016年7月13日 ➤ 本調査：2016年7月15日～2016年7月16日											

(人)

A 調査概要 ～白髪調査～

2017年 7月調査	調査目的	➤ 白髪に関する実態や意識の把握、サロン利用活性化のヒントの導出										
	調査手法	➤ インターネット調査										
	対象者条件	➤ 全国20～69歳男女、現在白髪があり白髪染めをしている＆白髪を気にしている＆ヘアサロン利用頻度が3か月に1回以上										
	回収数	➤ スクリーニング：50000人 ※人口動態に基づき性年代を割付 ➤ 本調査：1036人 ※SCRでの出現率をもとにウェイトバックを実施										
	実査期間	➤ スクリーニング：2017年7月7日～2017年7月10日 ➤ 本調査：2017年7月14日～2017年7月18日										

	男性					女性					計
	20代	30代	40代	50代	60代	20代	30代	40代	50代	60代	
回収数	82	109	109	109	109	52	116	116	117	117	1036
WB後集計対象数	17	41	70	84	64	11	59	169	257	264	1036

(人)

2016年 7月調査	調査目的	➤ 白髪に関する実態や意識の把握、サロン利用活性化のヒントの導出										
	調査手法	➤ インターネット調査										
	対象者条件	➤ 全国20～69歳男女、現在白髪があり白髪染めをしている＆白髪を気にしている＆ヘアサロン利用頻度が3か月に1回以上										
	回収数	➤ スクリーニング：50000人 ※人口動態に基づき性年代を割付 ➤ 本調査：1032人 ※SCRでの出現率をもとにウェイトバックを実施										
	実査期間	➤ スクリーニング：2016年7月11日～2016年7月13日 ➤ 本調査：2016年7月20日～2016年7月25日										

	男性					女性					計
	20代	30代	40代	50代	60代	20代	30代	40代	50代	60代	
回収数	103	103	103	103	103	78	110	110	110	109	1032
WB後集計対象数	16	44	64	74	56	10	63	168	242	294	1032

(人)

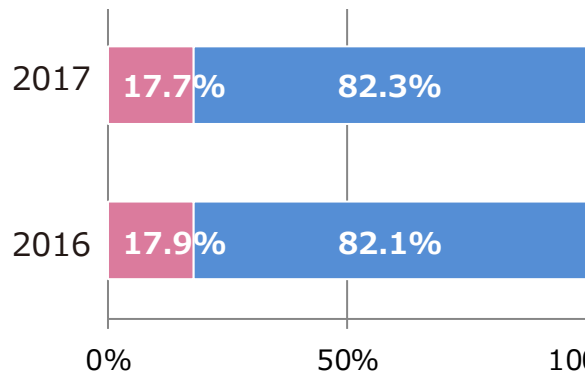


サマリー編 ～出現ボリューム～

A 薄毛/白髪人口のボリュームは？

＜薄毛/白髪である＞

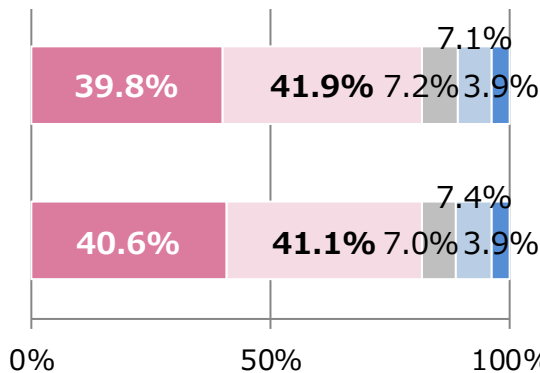
全体ベース



2017年・2016年いずれも n=50,000

＜薄毛/白髪が気になる＞

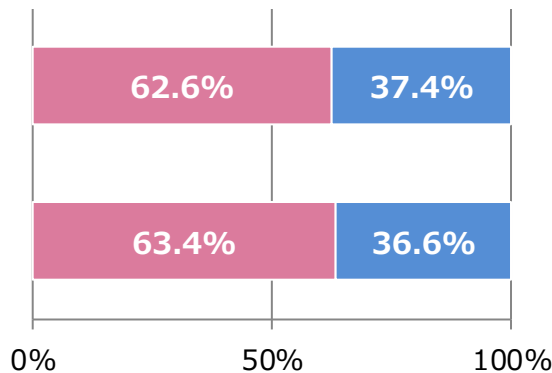
薄毛/白髪ありベース



2017年 n=8,872 2016年n=8,969

＜薄毛/白髪対策をしている＞

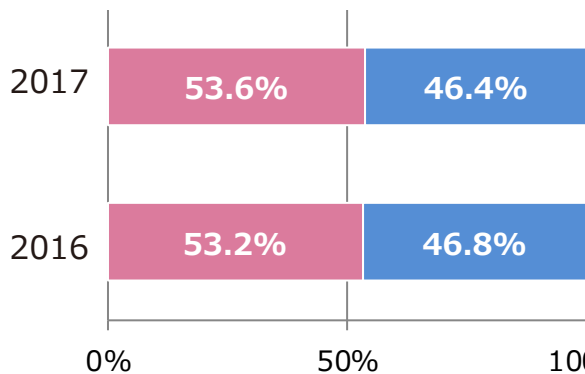
薄毛/白髪が気になる人ベース



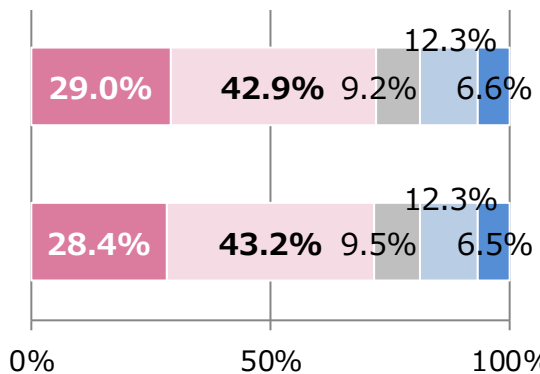
2017年 n=7,252 2016年n=7,332

薄毛

白髪



2017年・2016年いずれも n=50,000



2017年 n=26,809 2016年n=26,576 2017年 n=19,277 2016年n=19,041

はい いいえ

とても 気になる やや 気になる どちらとも いえない あまり 気にならない 全く 気にならない

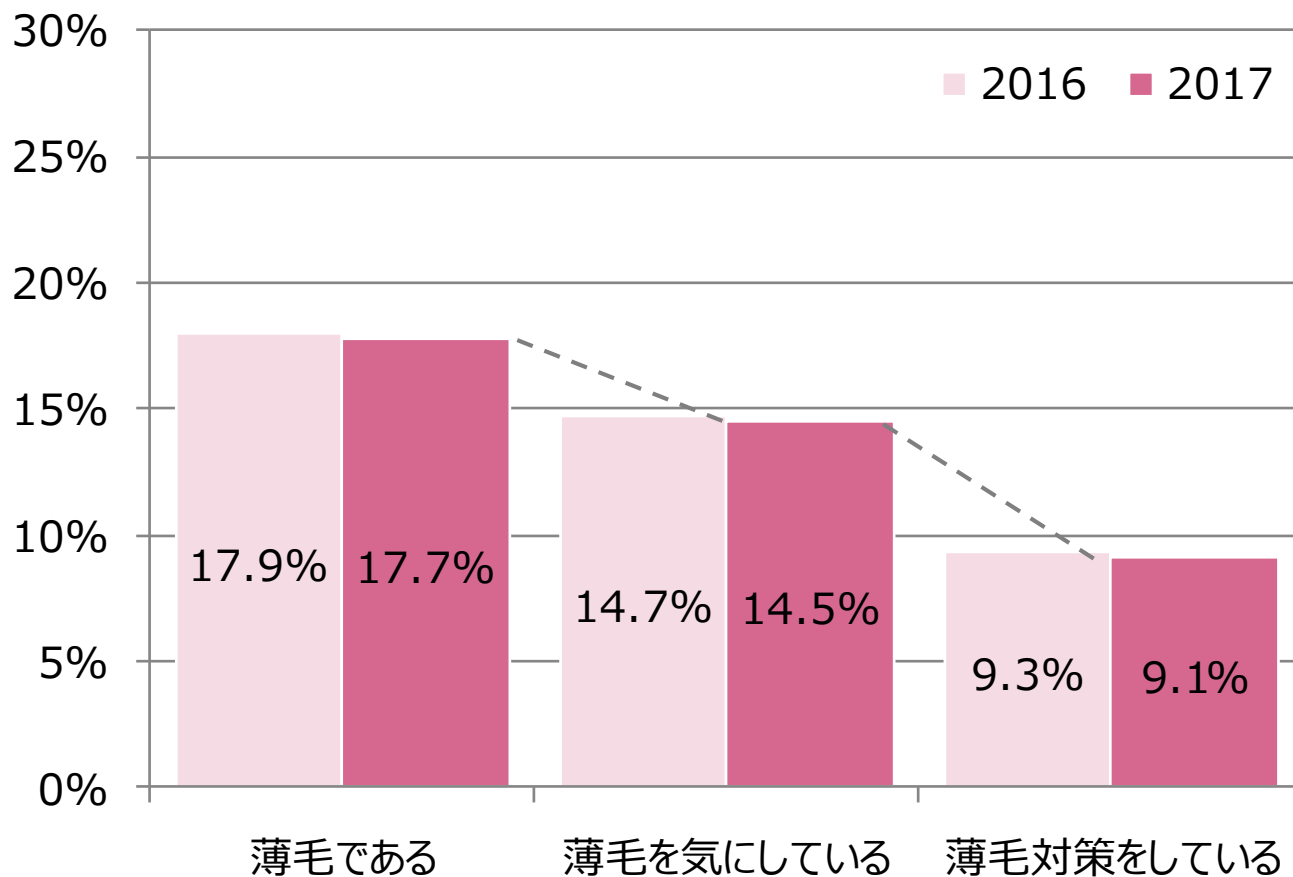
はい いいえ



サマリー編 ～薄毛調査～

A 薄毛人口のボリュームは？(全体ベース)

- 現在薄毛である人は全体の2割弱。薄毛であることを気にしていて、薄毛対策をしている人は全体の1割程度。前回と比較しても、ほぼ変化はない

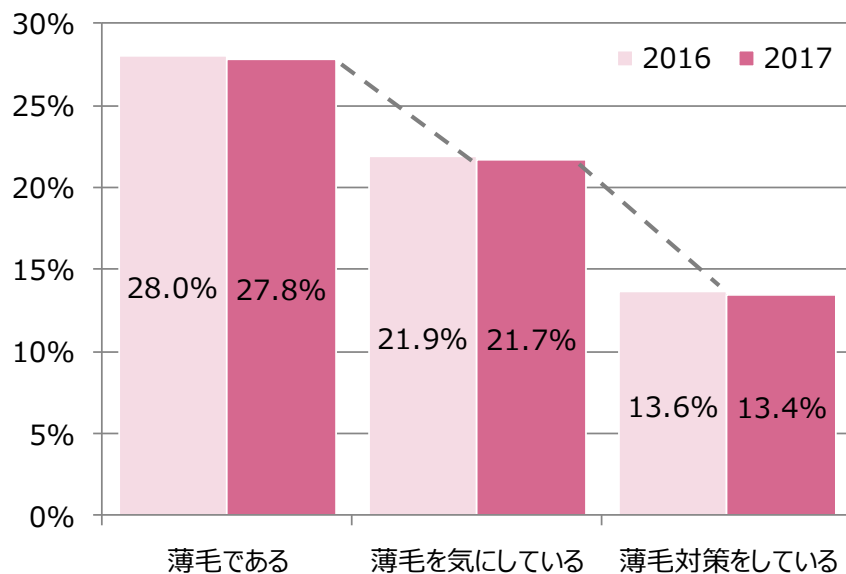


※SCRデータ(n=50000)より

A 薄毛人口のボリュームは？(性別)

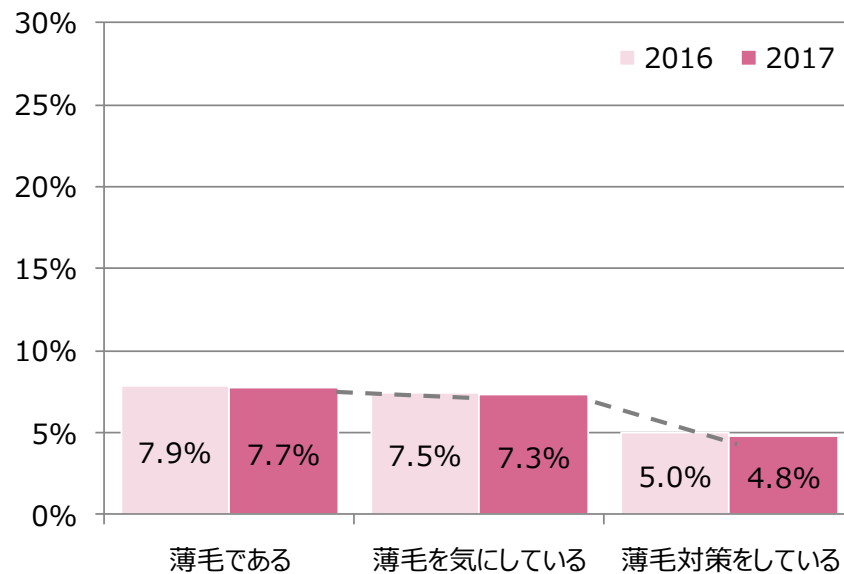
- 男性の方が、女性に比べて薄毛人口のボリュームが大きい
- 女性は男性に比べて薄毛である人は少ないものの、現在薄毛である女性のほとんどは薄毛が気になっている
- 男女いずれも前回に比べてボリュームに大きな変化はない

男性



2017年 n=25,004 2016年 n=24,981

女性



2017年 n=24,996 2016年 n=25,019

A 薄毛が気になり出した年齢ときっかけは？

- 薄毛が気になり出す年齢は男女ともに前回比で若干早まる
- 気になり出したきっかけは男女ともに「自分で鏡を見て」というケースが最も多い

↑前回比5pt以上アップ
↓前回比5pt以上ダウン

気になり出した
年齢

男性

2017 平均 **36.8** 歳
(2016 平均 **38.3** 歳)

2017年n=1,549/2016年n=1,606

女性

2017 平均 **39.9** 歳
(2016 平均 **41.4** 歳)

2017年n=514/2016年n=548

気になり出した
きっかけ

		2017	2016
		n= 1549	n= 1606
1	[自分]鏡を見ていた時	43.8%	47.5%
2	[他人]家族（配偶者、親、兄弟姉妹など）から	12.8%	12.9%
3	[自分]抜け毛の量を見た時	9.4%	7.9%
4	[他人]友人・知人から	8.8%	6.5%
5	[自分]自分の写っている写真を見ていた時	8.3%	8.9%

【年代別傾向】

- 20代は洗髪時に気付く人が、50代は自分の写った写真で気付く人が多め

		2017	2016
		n= 514	n= 548
1	[自分]鏡を見ていた時	38.2%	39.8%
2	[自分]抜け毛の量を見た時	15.9%	16.2%
3	[他人]家族（配偶者、親、兄弟姉妹など）から	11.7%	12.1%
4	[他人]友人・知人から	7.1%	4.7%
5	[自分]自分の写っている写真を見ていた時	6.9%	7.8%

【年代別傾向】

- 20代は家族からの指摘や同年代の他者との比較など、他者きっかけで気付く人が多め

A 気になる目線は？

- 男女ともに「他人の目すべて」がトップに挙がる
- 男性は異性の同僚や友人を気にする傾向が前回より高まる

 前回比5pt以上アップ
 前回比5pt以上ダウン

気になる目線

男性

		2017	2016
n=		1549	1606
1	他人の目すべて	38.5%	40.8%
2	職場の異性	29.1%	21.8%
3	異性の友人	24.0%	18.8%
4	職場の同性	22.1%	19.2%
5	同性の友人	17.7%	13.2%
	他人の目は気にならない	19.1%	19.8%

【年代別傾向】

- 20～30代は異性や友人の目が気になる傾向が強い
- 50～60代は他人の目は気にならない人が多め

女性

		2017	2016
n=		514	548
1	他人の目すべて	58.2%	60.8%
2	同性の友人	27.9%	26.1%
3	職場の同性	18.2%	15.4%
4	配偶者	15.4%	16.6%
5	異性の友人	13.4%	13.5%
	他人の目は気にならない	11.4%	11.0%

【年代別傾向】

- 30代以上は、異性の目を気にする傾向が弱くなる
- 年代問わず、同性の友人の目を気にする傾向が強い

➤男女ともに「特に良かったことはない」が圧倒的に多い。良かったことの中では、「髪を乾かす手間」や「洗髪の手間」などが軽減されたことが上位に挙がる

薄毛で
良かったこと

男性		
	n=	1549
1	髪を乾かす手間が減った/なくなった	19.8%
2	洗髪の手間が減った/なくなった	12.6%
3	髪を整える・セットする手間が減った/なくなった	12.0%
4	シャンプーなどの使用量が減り、長くもつようになった	9.6%
5	ヘアカットの頻度が減った	9.2%
	特に良かったことはない	66.3%

女性		
	n=	514
1	髪を乾かす手間が減った/なくなった	17.6%
2	洗髪の手間が減った/なくなった	8.4%
3	シャンプーなどの使用量が減り、長くもつようになった	7.3%
4	髪を整える・セットする手間が減った/なくなった	4.9%
5	ヘアカットの頻度が減った	3.7%
	特に良かったことはない	76.0%

【年代別傾向】

・20～40代は、良かったことに挙げている項目が少なく、他年代と比べて特にネガティブな意識を持っている

➤男女ともに「人の目が気になるようになった」がトップ。女性は「カットやセットに気を遣うようになった」「できる髪型が減った」など、ヘアスタイルの悩みも多い

薄毛で
嫌なこと

男性		
	n=	1549
1	人の目が気になるようになった	47.8%
2	できる髪型が減った	32.8%
3	薄毛対策の手間が増えた	27.4%
4	薄毛対策の出費が増えた	26.7%
5	ヘアカットや髪の設定のときに気を遣うようになった	23.8%
	特に嫌なことはない	12.0%

女性		
	n=	514
1	人の目が気になるようになった	57.2%
2	ヘアカットや髪の設定のときに気を遣うようになった	43.1%
3	できる髪型が減った	42.0%
4	薄毛対策の手間が増えた	29.4%
5	薄毛対策の出費が増えた	27.5%
	特に嫌なことはない	6.0%

【年代別傾向】

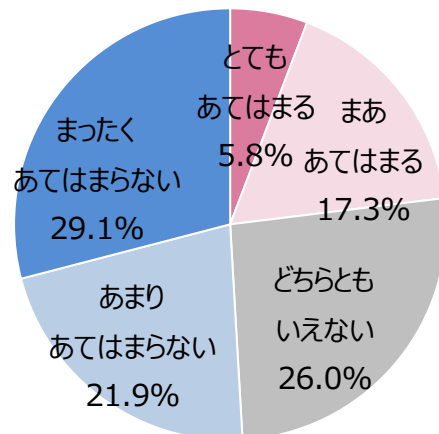
- 若年層ほど、「薄毛をいじられたりネタにされる」のスコアが高くなる

➤ 同じ悩みの人と分かち合う人は男女ともに2割強。男性は若年層ほど分かち合う傾向が強く、4割前後が悩みを共有している

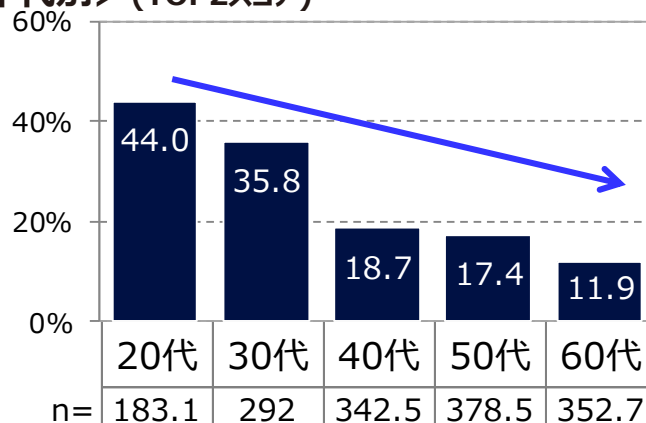
他者との
共有経験

男性 n=1,549

<全体>

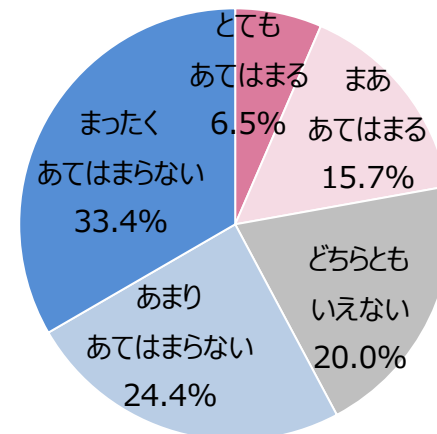


<年代別> (TOP2スコア)

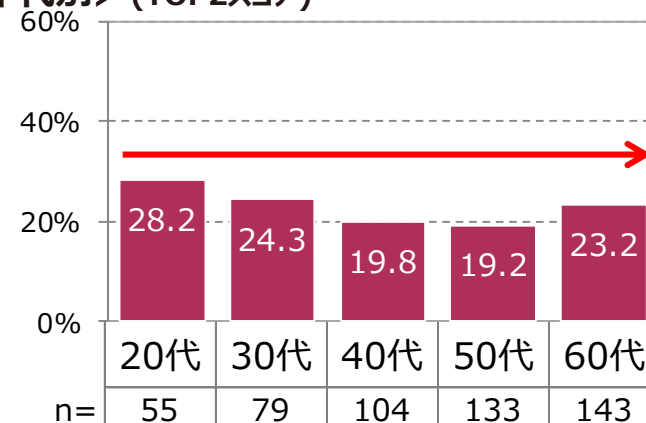


女性 n=514

<全体>



<年代別> (TOP2スコア)



➤男性は「知らなかった対策を知れた」「口コミ・体験談が聞けた」など情報収集できた点が上位に挙がる。女性も「対策を知れた」がトップに挙がるが、次いで「悩みの相談・解決」「仲間が増えた」など共感・共有できた点も喜びにつながっている

薄毛について
話して良かったこと

男性

		n=	357
1	知らなかった薄毛対策を知ることができた	29.7%	
2	薄毛対策の口コミ・体験談が聞けた	25.2%	
3	相手と親しくなれた	24.9%	
4	薄毛についてポジティブに考えられるようになった	22.7%	
5	悩みを相談できた/解決できた	21.3%	
	特に良かったことはない	25.6%	

【年代別傾向】

- 20～30代は「相談・解決」、50～60代は「ポジティブに考えられるようになった」が高め

女性

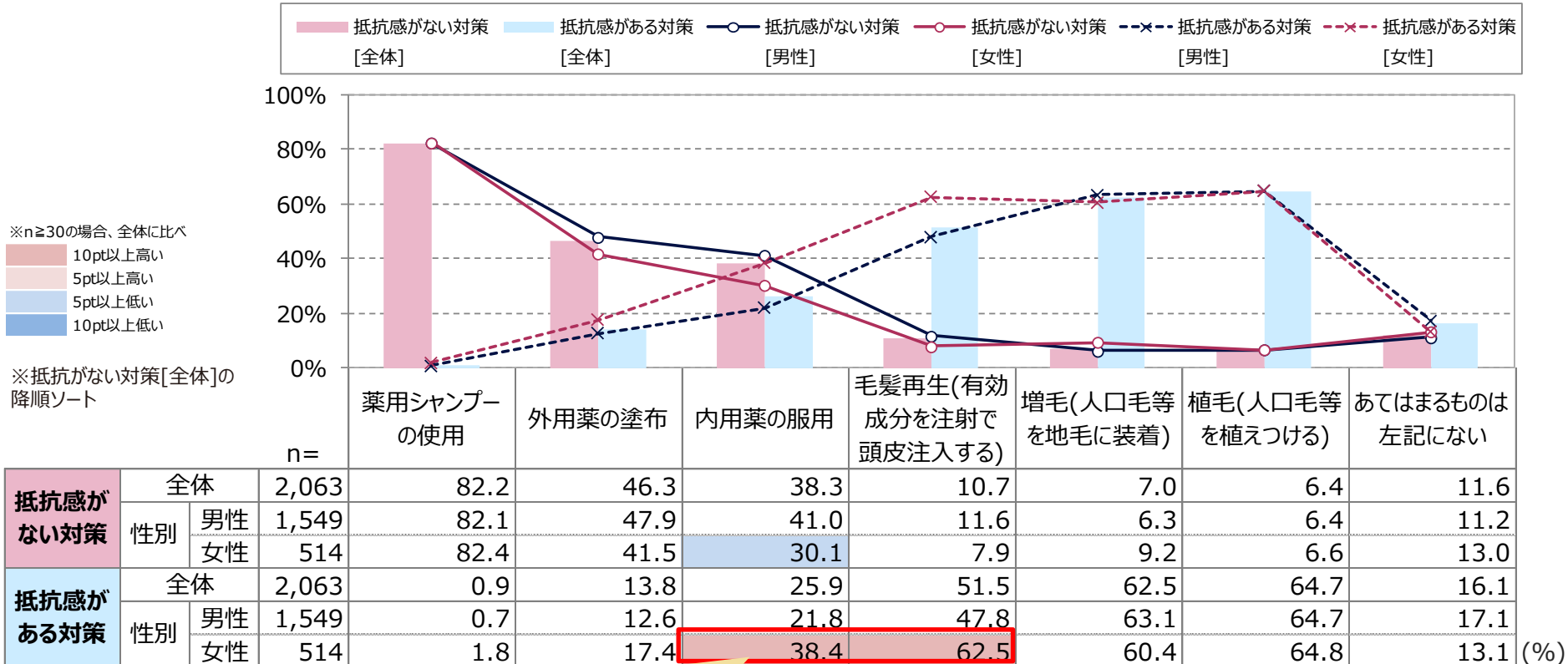
		n=	114
1	知らなかった薄毛対策を知ることができた	25.7%	
2	悩みを相談できた/解決できた	23.9%	
3	薄毛について話せる仲間が増えた	17.7%	
4	薄毛についてポジティブに考えられるようになった	17.1%	
5	薄毛対策の口コミ・体験談が聞けた	15.0%	
	特に良かったことはない	29.5%	

A 普段やっている/今後やってみたい薄毛対策は？

➤ 普段やっている対策は自宅で行えるものが多いが、やってみたい対策をみると「専門クリニック/サロンに行く」など自宅外で行う専門的な対策への興味もうかがえる

	男性			女性		
		2017 n=1549	2016 1606		2017 514	2016 548
普段やっている 薄毛対策	1 育毛エッセンス・育毛ローションや発育毛剤（市販品）	28.2%	28.2%	1 育毛エッセンス・育毛ローションや発育毛剤（市販品）	29.1%	32.0%
	2 薄毛対策用シャンプーやトリートメント	27.5%	28.5%	2 薄毛対策用シャンプーやトリートメント	22.2%	21.4%
	3 自宅で自分の手だけでヘッドスパ・ヘッドマッサージをする	13.8%	16.2%	3 自宅で自分の手だけでヘッドスパ・ヘッドマッサージをする	19.2%	21.6%
	4 生活習慣に気をつける	10.2%	11.4%	4 生活習慣に気をつける	15.4%	15.0%
	5 市販の薬や漢方を使う	9.9%	10.2%	5 美容室・理容室で相談する	6.9%	3.9%
今後やってみたい 薄毛対策	1 育毛エッセンス・育毛ローションや発育毛剤（市販品）	16.1%	19.9%	1 育毛エッセンス・育毛ローションや発育毛剤（市販品）	19.9%	23.4%
	2 薄毛治療のできる病院や専門クリニックで治療する	15.1%	16.0%	2 ヘッドスパ・ヘッドマッサージに行く	16.3%	15.5%
	3 薄毛対策用シャンプーやトリートメント	12.9%	14.9%	3 薄毛対策用シャンプーやトリートメント	15.0%	16.2%
	4 市販の薬や漢方を使う	10.0%	10.6%	4 薄毛治療のできる病院や専門クリニックで治療する	13.5%	10.6%
	5 薄毛専門サロンに行く	8.7%	9.9%	5 自宅で自分の手だけでヘッドスパ・ヘッドマッサージをする	11.2%	12.7%

➤男女ともに「薬用シャンプーの使用」は抵抗感がほとんどなく、「植毛」「増毛」「毛髪再生」は抵抗感が高い。女性は「毛髪再生(有効成分を頭皮に注入する)」「薬の服用」など、体内に何かを取り入れる施術への抵抗感が高め



【年代別傾向】女性50～60代は、「薬の服用」や「毛髪再生」に抵抗感を持つ割合が高め

A 薄毛対策の情報源は？

- 男女ともに「ネット検索」「TV・ラジオ」からの情報収集が多く、前回と比べて大きな変化はない
- 女性は約2割が「理美容師に相談」できているのに対し、男性は1割に満たない

↑前回比5pt以上アップ
↓前回比5pt以上ダウン

薄毛対策の情報源

男性			
		2017	2016
n=		1549	1606
1	インターネット検索	55.3%	55.2%
2	TV・ラジオ	48.5%	46.8%
3	新聞	17.6%	18.1%
4	雑誌	16.0%	15.3%
5	知人から直接聞く口コミ	13.9%	11.7%
～			
9	美容師・理容師に相談する	9.7%	8.6%

【年代別傾向】

- ・20～30代は「ネット検索」「美容サイトや口コミサイト」「SNS・ブログ」などインターネットを活用している人が多め

女性			
		2017	2016
n=		514	548
1	インターネット検索	50.4%	47.6%
2	TV・ラジオ	48.5%	53.8%
3	美容師・理容師に相談する	21.9%	21.8%
4	知人から直接聞く口コミ	19.1%	22.3%
5	雑誌	17.9%	16.7%

【年代別傾向】

- ・「理美容師に相談」は20～40代でより高め

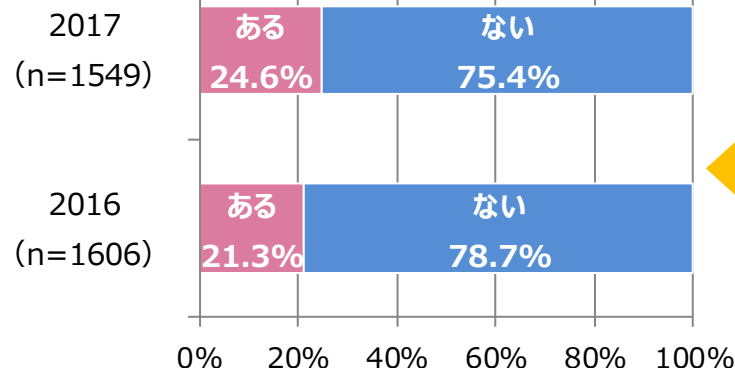
A サロンでの相談経験は？(全体ベース)

➤ 相談経験率は女性の方が高い。男性は年代による差が大きく、若年層ほど経験率が高い。前回比で20代・50代男性の相談経験率増加が顕著

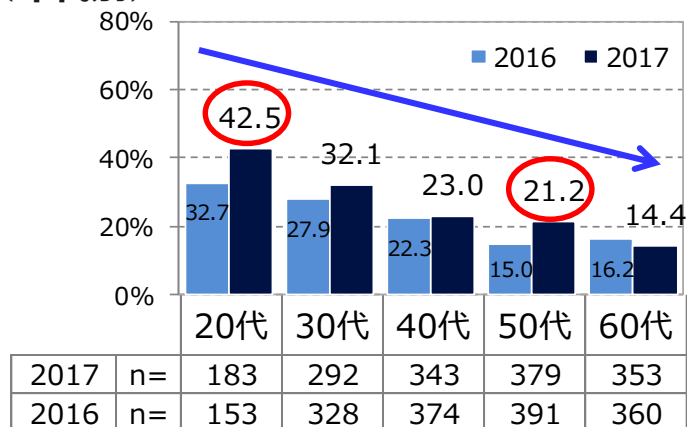
サロンでの
相談経験

男性

<全体>

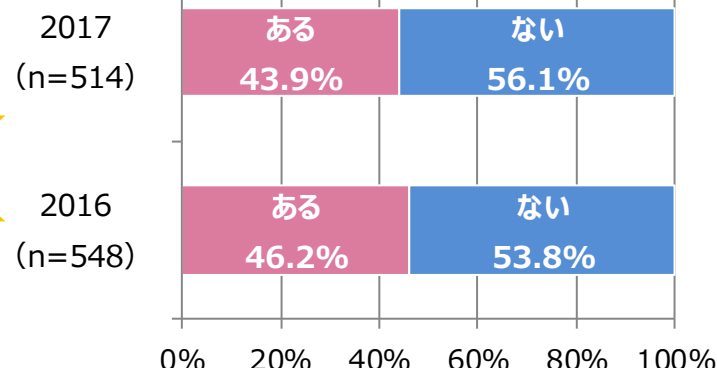


<年代別>

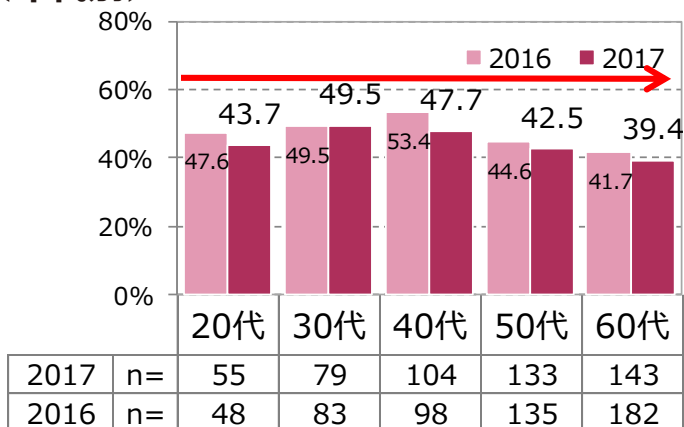


女性

<全体>



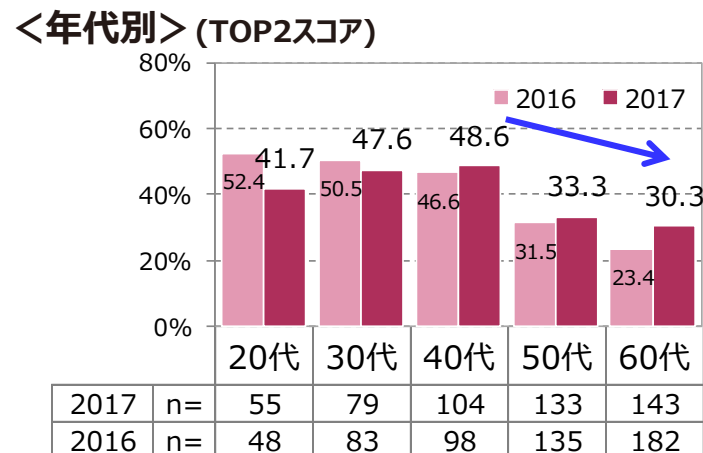
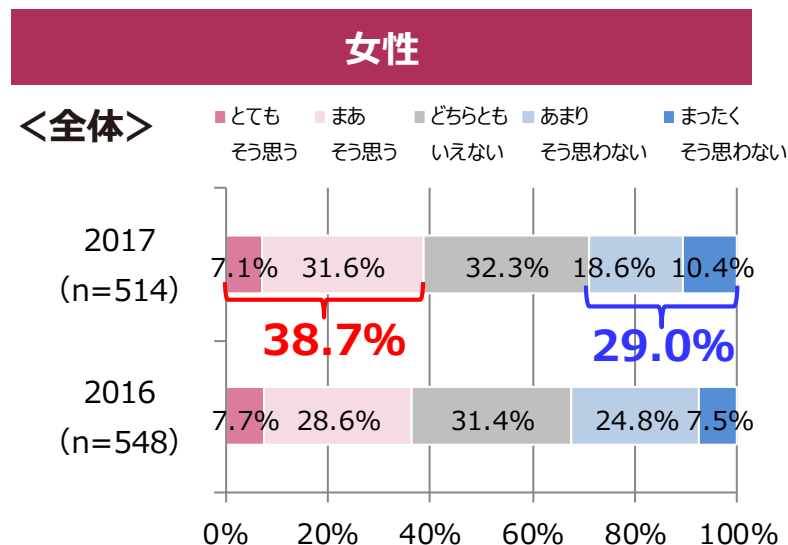
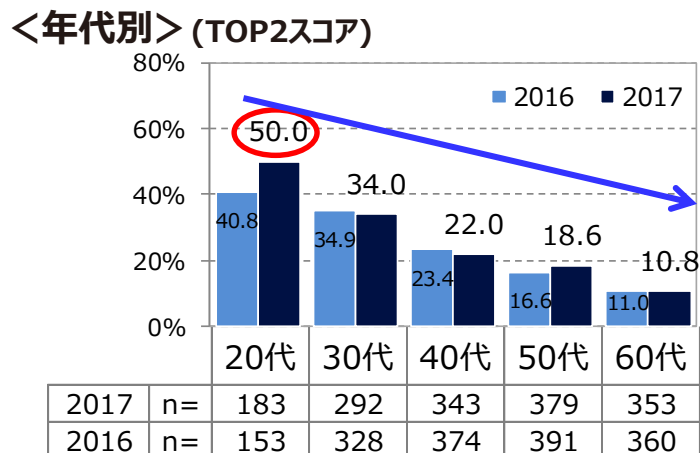
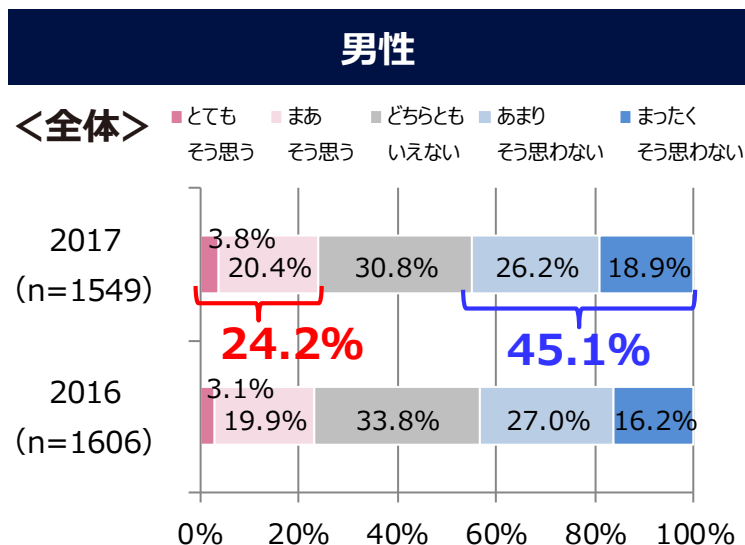
<年代別>



A サロンでの相談意向は？（全体ベース）

➤ 相談意向も相談経験率同様に女性が高め。男性は高年代ほど、女性は50・60代になると意向が低下。20代男性は前回比で相談意向が大幅に上昇

薄毛について
サロン相談意向



A サロンでの相談意向ありの理由は？

➤男女ともに「薄毛をカバーする髪型」がトップ。「対策・予防策の情報」「頭皮や髪についての診断」「対策・予防のメニューやケア商品の紹介」など、プロならではの情報提供への期待も大きい

↑前回比5pt以上アップ
↓前回比5pt以上ダウン

サロンで
相談したい理由

男性			
		2017	2016
n=		374	369
1	薄毛をカバーする髪型にしてほしい	60.7%	59.3%
2	対策・予防策に関する情報を教えてほしい	56.9%	52.8%
3	頭皮や髪の状況について、診断してほしい	49.8%	49.7%
4	対策・予防になるメニューやシャンプーなどのケア商品を紹介してほしい	42.6%	41.5%
5	周囲の人間以外の誰かに悩みを聞いて欲しい	9.5%	12.1%

【年代別傾向】

- 年齢とともに「薄毛をカバーする髪型にしてほしい」が減少しており、全体と比べると特に40～60代が低め

女性			
		2017	2016
n=		199	199
1	薄毛をカバーする髪型にしてほしい	70.8%	68.4%
2	対策・予防策に関する情報を教えてほしい	59.2%	56.5%
3	頭皮や髪の状況について、診断してほしい	51.8%	48.3%
4	対策・予防になるメニューやシャンプーなどのケア商品を紹介してほしい	40.3%	32.7%
5	周囲の人間以外の誰かに悩みを聞いて欲しい	9.5%	6.2%

A サロンでの相談意向なしの理由は？

➤ 男性は「理美容室で相談することではない」がトップ。女性は「悩みを言えるほど親しくない」「言い出すのが恥ずかしい」といった心理的なハードルが男性より高く、前回比でもスコアアップ。「商品売りつけられそう」という不安も大きい

↑ 前回比5pt以上アップ
↓ 前回比5pt以上ダウン

サロンで相談
したくない理由

男性			
		2017	2016
	n=	698	695
1	美容室・理容室で相談することではないと思う	57.1%	55.6%
2	悩みを言えるほど親しくない	35.0%	33.8%
3	相談してもいいアドバイスがもらえないと思う	23.9%	27.0%
4	言い出すのが恥ずかしい	19.2%	20.3%
5	商品売りつけられそうな気がする	16.9%	17.1%

【年代別傾向】

- ・「言い出すのが恥ずかしい」は、20～30代が高く、年齢とともに減少傾向

女性			
		2017	2016
	n=	149	177
1	悩みを言えるほど親しくない	48.9%	36.8%
2	商品売りつけられそうな気がする	33.0%	40.3%
3	美容室・理容室で相談することではないと思う	30.9%	42.2%
4	言い出すのが恥ずかしい	30.0%	26.3%
5	相談してもいいアドバイスがもらえないと思う	28.2%	34.6%

【年代別傾向】

- ・50～60代の方は項目全般的にスコアが高く、障壁が多い

A サロンで相談したくなる状況とは？(相談したくない人ベース)

➤5～6割の人は、「どんな状況でも相談したくない」と強い抵抗感を持っており、この傾向は前回と比べても強くなっている

↑前回比5pt以上アップ
↓前回比5pt以上ダウン

サロンで
相談したくなる
状況

男性		2017	2016
n=		698	695
1	どんな状況でも相談したくない	↑64.1%	58.1%
2	カウンセリングや施術中などに、髪の毛について聞いてくれたら	13.0%	12.8%
3	カウンセリングシートがあれば	12.9%	15.0%
4	スタイリストとは別に、美容の悩みを相談できるスタッフがいるサロンであれば	↓8.1%	14.3%
5	事前にネット上で悩みを伝えることができれば	6.3%	7.1%

女性		2017	2016
n=		149	177
1	どんな状況でも相談したくない	↑57.8%	45.8%
2	スタイリストとは別に、美容の悩みを相談できるスタッフがいるサロンであれば	15.4%	16.1%
3	カウンセリングや施術中などに、髪の毛について聞いてくれたら	↓14.5%	20.4%
4	カウンセリングシートがあれば	11.2%	12.1%
5	同性の美容師・理容師だったら	7.8%	6.2%

【年代別傾向】

- 20代は回答している項目が多く、他年代と比べて相談に対するハードルが低い可能性がある。特に「施術中に髪の毛の悩みを聞いてくれたら」は約3割が回答

	男性の特徴	女性の特徴
気になり出した年齢	• 女性よりも若干早め • 【前回比】ややタイミングが早まる	• 男性よりも若干遅め • 【前回比】ややタイミングが早まる
薄毛が気になり出したきっかけ	• 「鏡を見ていた時」が最も多い	• 「鏡を見ていた時」が最も多い。男性よりも髪が長い人が多く抜け毛が分かりやすいためか、「抜け毛の量を見た時」も男性比でやや高め
気になる視線	• 「職場の異性」「異性の友人」など、配偶者・恋人以外の異性の視線を気にしがち • 【前回比】「職場の異性」「異性の友人」を意識する傾向がより高まる	• 「他人の目すべて」が気になる人が男性よりも非常に多く、同性からの視線も気にしがち • 【前回比】「職場の同性」を意識する傾向が20代でアップ
薄毛で良かったこと	• 「特になし」が7割弱を占める • 良かったことのスコアは全般的に女性より若干高め	• 「特になし」が8割弱と男性より高め
薄毛で嫌なこと	• 「薄毛をいじられたり、ネタにされる」が女性を上回り(男性:18.1%、女性:5.9%)、特に若年層で高くなる傾向	• 「人の目が気になる」「サロンに行きづらくなった」などの心理的引け目、「できる髪型が減った」「カットやセットで気を遣う」などヘアスタイルの悩みのほか、「抜け毛を掃除する手間が増えた」といった悩みが大きい

	男性の特徴	女性の特徴
薄毛を 分かち合う ことがあるか	年代差が大きく、20～30代は分かち合う人が4割前後と多いが、40～60代は2割以下	年代が高くなるほどスコアが低まるが、60代でやや上昇する
薄毛について 話して 良かったこと	「薄毛対策の口コミ・体験談が聞けた」「相手と親しくなれた」が女性を大きく上回る	全般的に男性よりスコアが低め
普段やっている 薄毛対策	「薄毛対策用シャンプーやトリートメント」「市販の薬や漢方」などの使用が女性より多い	「自宅でヘッドスパ・マッサージをする」「生活習慣に気を付ける」人が男性より多い
今後 やってみたい 薄毛対策	1割以上の人に興味を持っているのは、「育毛エッセンス」「薄毛対策用シャンプーやトリートメント」「市販の薬や漢方」などの市販品の使用や、「専門クリニックへ行く」こと	1割以上の人に興味を持っているのは、「育毛エッセンス」「薄毛対策用シャンプーやトリートメント」などの市販品の使用のほか、「専門クリニック」「ヘッドスパ・マッサージ(自宅や理美容室で実施)」など
施術のハードル	「外用薬の塗布」「内用薬の服用」に抵抗感がない人が多い	「毛髪再生(有効成分の頭皮注入)」「内用薬の服用」など、体内に何かを取り入れる施術への抵抗感が大きい

男性の特徴

女性の特徴

薄毛対策の
情報源

- ・インターネットやメディアを通じた情報収集がメインで、「理美容師に相談」はあまり出来ていない

- ・「理美容師に相談」「知人の口コミ」など、**周囲の人経由での情報収集**が男性より多い
- ・【前回比】「TV・ラジオ」の利用が**ダウン**

サロンでの
相談経験

- ・「相談経験あり」は約25%と**女性より低め**
- ・【前回比】**20代、50代**の相談経験率が**アップ**

- ・「相談経験あり」は4割強
- ・【前回比】**40代**の相談経験率が**ダウン**

サロンでの
相談意向

- ・「相談意向あり」は約25%と**女性より低め**
- ・【前回比】**20代**の意向が約10pt**アップ**

- ・「相談意向あり」は約4割
- ・【前回比】20代の意向は**ダウン**した一方、60代の意向は**アップ**

サロンで相談
したい理由

- ・若年層ほど「**薄毛をカバーする髪型**」への期待が高くなる
- ・【前回比】20～40代で「**対策・予防策の情報提供**」、60代で「**薄毛をカバーする髪型**」「**頭皮診断**」への期待が**アップ**

- ・「**薄毛をカバーする髪型**」への期待が男性より高め(特に50～60代)
- ・【前回比】50代で「**薄毛をカバーする髪型**」、60代で「**対策・予防策の情報提供**」への期待が**アップ**

男性の特徴

サロンで相談
したくない理由

- 「サロンで相談することではない」という意識が強い
- 「悩みを言えるほど親しくない」「恥ずかしい」などの心理的なハードルは若年層ほど高い
- 【前回比】20代で「サロンで相談することではない」意識がアップ

サロンで相談
したくなる状況

- 「どんな状況でも相談したくない」が6割強で、高齢層ほど抵抗感が強い
- 【前回比】20代で「施術中に悩みを聞いてくれたら」がアップ

サロン利用
アップへのヒント➤ 髪の悩みのヒアリングをきっかけに、自分から
言い出しにくい若年層の相談に乗る

- ✓ 20代は相談意向が他年代より高い一方で、自分から薄毛について話すことへの心理的障壁も大きい
⇒ 施術中に悩みを聞いてくれたら相談できそうという人が3割いるため、サロン側から髪の悩みがないかアプローチするのが効果的

女性の特徴

- 「悩みを言えるほど親しくない」「恥ずかしい」などの心理的ハードルのほか、追加の商品やサービスを売りつけられそうという不安が大きい
- 【前回比】「悩みを言えるほど親しくない」がアップ(特に50～60代で顕著)

- 「スタイリスト以外の美容の悩みを相談できるスタッフがいれば」相談したくなる人が多め
- 【前回比】「どんな状況でも相談したくない」人がアップ



➤ 無料サービス範囲内で対策を提案

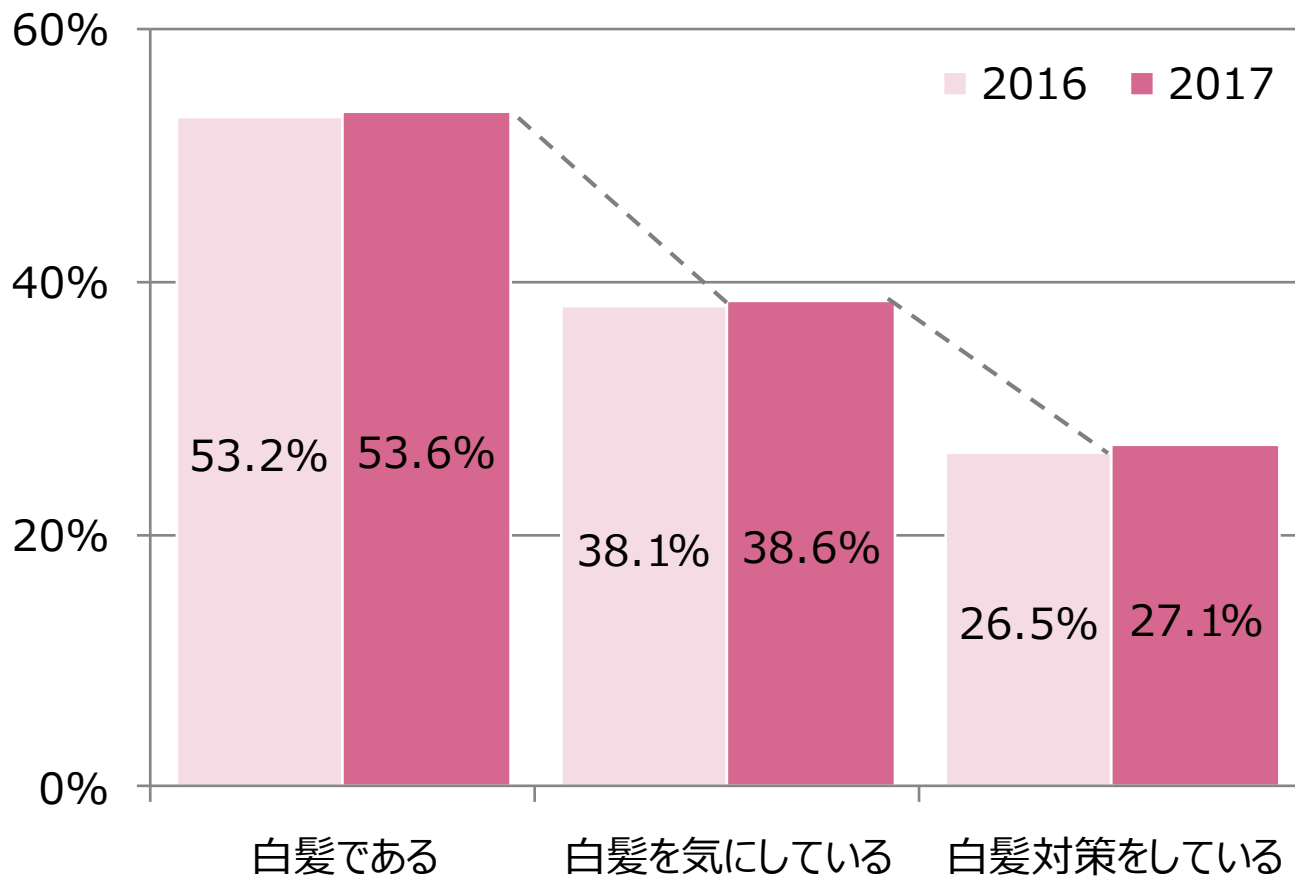
- ✓ 髪型やヘアセットに悩む人が多い一方で、薄毛を相談することで追加の商品やサービスを売り込まれることへの不安が大きい
⇒ 薄毛をカバーする髪型や自宅でできるヘアセットの提案など、追加料金不要の範囲内で悩みの相談に乗り、まずは安心感を醸成することが必要



サマリー編 ～白髪調査～

A 白髪人口のボリュームは？(全体ベース)

➤ 現在白髪である人は全体の過半数。白髪を気にしている人は全体の4割程度で、白髪対策をしている人は全体の3割程度。前回と比較しても、ほぼ変化はない

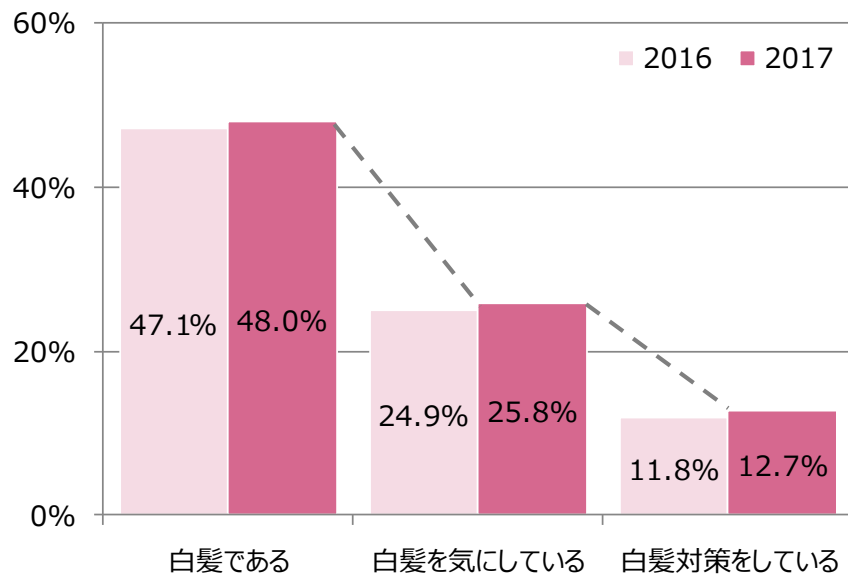


※SCRデータ(n=50000)より

A 白髪人口のボリュームは？(性別)

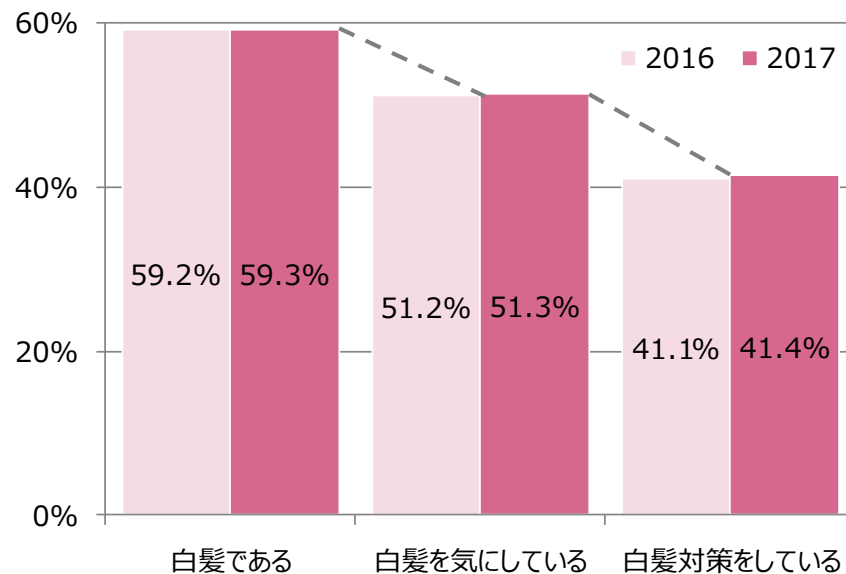
- 男性に比べて、女性の方が現在白髪である人の割合が高め
- かつ、その中で白髪を気にしている人や白髪対策をしている人の割合も女性の方が高く、女性は男性よりも白髪を気にする傾向にある
- 男女いずれも前回と比べてボリュームに大きな変化はない

男性



2017年 n=25,004 2016年 n=24,981

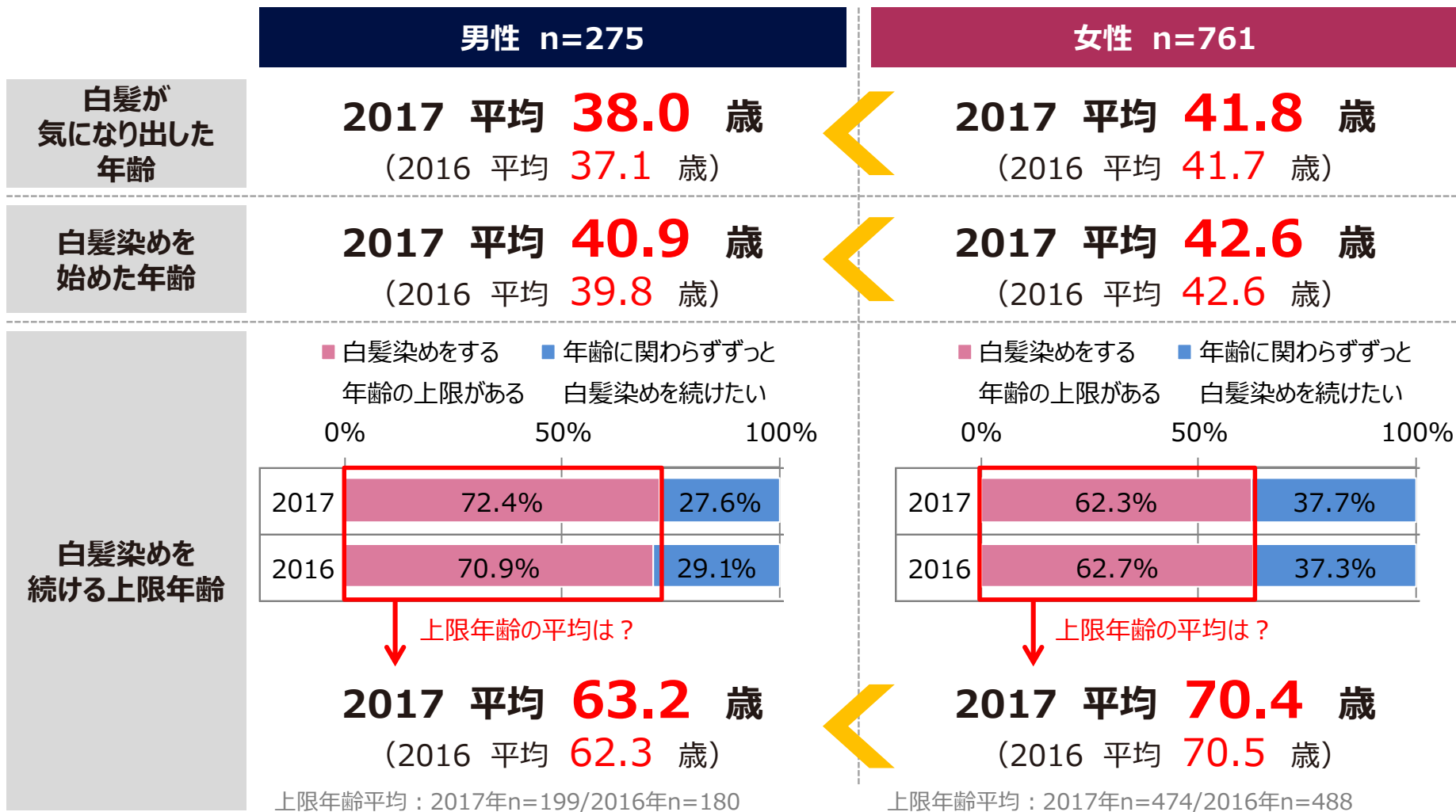
女性



2017年 n=24,996 2016年 n=25,019

A 白髪が気になり出した年齢は？

➤ 白髪が気になり出した年齢・白髪染めを始めた年齢はともに男性の方が若干タイミングが早いですが、白髪染めを今後も長く続けたい意識は女性の方が高め



A 気になる目線は？ / 白髪染めのタイミングは？

- 男性は「異性」の目を気にする傾向が強く、女性は同性・家族を気にする傾向
- 女性は「自分が気になったとき」という人が減り「定期的に」という人が増えた

 前回比5pt以上アップ
 前回比5pt以上ダウン

男性

気になる目線

		2017 n=275	2016 n=254
1	職場の異性	33.8%	29.7%
2	他人の目すべて	30.2%	31.4%
3	職場の同性	26.5%	24.4%
4	異性の友人	21.7%	24.2%
5	配偶者	20.2%	19.1%
	他人の目は気にならない	17.6%	16.0%

女性

		2017 n=761	2016 n=778
1	他人の目すべて	46.0%	53.1%
2	同性の友人	39.2%	34.4%
3	配偶者	17.7%	14.8%
4	職場の同性	17.3%	22.8%
5	祖父母、親、兄弟姉妹、子ども	14.8%	9.5%
	他人の目は気にならない	14.2%	9.9%

白髪染めの タイミング

1	自分自身が気になったときに	77.1%	79.1%
2	自分が決めている頻度に沿って定期的に	28.9%	26.3%
3	大事なイベントや行事が控えているとき	17.1%	17.5%
4	ちょっとしたイベントのとき	13.3%	11.8%
5	他人に指摘されたとき	5.5%	5.5%

1	自分自身が気になったときに	77.5%	85.2%
2	大事なイベントや行事が控えているとき	33.7%	36.5%
3	自分が決めている頻度に沿って定期的に	32.3%	23.2%
4	ちょっとしたイベントのとき	19.8%	18.8%
5	他人に指摘されたとき	3.1%	4.2%

A 白髪染めの理由は？

- 男性は前回同様「若く見られたい」がトップ。女性では、「自分自身が気になる」が順位を上げトップとなった。また、女性は「身だしなみ」「清潔感」など、マイナスイメージをもたれないためのマナーという意識が強いのも特徴的
- 男女ともに「自分自身が気になる」「白髪がない方がカッコ良い」など自分目線の回答が前回よりアップ

白髪染めをする理由

男性		2017 n=275	2016 254
1	若く見られたいから	55.1%	53.9%
2	白髪がない方がカッコ良いから	46.9%	43.1%
3	自分自身が気になるから ↑	31.2%	21.8%
4	いい印象を持たれたいから	26.6%	24.1%
5	イメージ・雰囲気を変えたいから	25.6%	27.1%

↑ 前回比5pt以上アップ
↓ 前回比5pt以上ダウン

女性		2017 n=761	2016 778
1	自分自身が気になるから ↑	53.4%	44.8%
2	白髪がない方がカッコ良いから ↑	45.0%	40.9%
3	若く見られたいから	43.0%	47.1%
4	身だしなみとして必要だから ↓	42.9%	48.0%
5	清潔感があるように見られたいから	26.0%	30.5%

【年代別傾向】

- 「自分自身が気になる」という意識は50～60代で高め
- 50代までは「白髪がない方がカッコ良い」と考えるが、60代になるとその意識は低くなる

A やっている/やってみたい白髪対策は？

➤ 男性は自宅染めが多く、女性はサロン染め・自宅染めが半々程度。男女ともサロン染めが微増。女性は専門サロンで白髪染めをしてみたい人が増えている

↑ 前回比5pt以上アップ
↓ 前回比5pt以上ダウン

普段やっている 白髪対策

男性		2017	2016
n=		275	254
1	自宅で市販の白髪用ヘアカラーで白髪染め	64.6%	66.5%
2	美容室・理容室での白髪染め	17.8%	13.0%
3	自宅で市販のヘアカラー/おしゃれ染め	12.8%	15.4%
4	白髪を徐々に染めていくシャンプー等を利用する	10.0%	10.9%
5	美容室・理容室でのヘアカラー/おしゃれ染め	8.6%	8.8%

女性		2017	2016
n=		761	778
1	美容室・理容室での白髪染め	52.4%	47.6%
2	自宅で市販の白髪用ヘアカラーで白髪染め	49.8%	49.5%
3	美容室・理容室でのヘアカラー/おしゃれ染め	18.1%	17.5%
4	スティック（塗る）タイプの白髪隠しを利用する	17.6%	11.9%
5	白髪を徐々に染めていくシャンプー等を利用する	14.0%	13.4%

今後やってみたい 白髪対策

1	カラー専門サロンや白髪染め専門サロンでの白髪染め	20.6%	19.1%
2	白髪を徐々に染めていくシャンプー等を利用する	16.0%	17.6%
3	美容室・理容室での白髪染め	15.7%	18.8%
4	白髪によいとされる食生活を心がける	13.8%	15.3%
5	美容室・理容室でヘッドスパ・ヘッドマッサージ	13.1%	10.8%

1	美容室・理容室でヘッドスパ・ヘッドマッサージ	27.0%	26.5%
2	白髪を徐々に染めるシャンプー等を利用する	18.2%	20.5%
3	ウィッグを利用する	18.1%	14.9%
4	カラー専門サロンや白髪染め専門サロンでの白髪染め	17.6%	11.8%
5	白髪によいとされる食生活を心がける	11.8%	16.0%

A 白髪対策の情報源は？

- 前回同様、女性は「理美容師に相談」「知人の口コミ」など周囲の人間にも相談できている人が多いのに対し、男性はメディアやネットを通じた情報収集がメイン
- 前回に比べ、男性の「ネット検索」、女性の「口コミ」が増加した

↑ 前回比5pt以上アップ
↓ 前回比5pt以上ダウン

白髪対策の情報源

男性			2017	2016
		n=	275	254
1	TV・ラジオ		52.7%	50.8%
2	インターネット検索	↑	35.4%	27.2%
3	美容師・理容師に相談する		19.3%	15.0%
4	インターネットのバナー広告		14.2%	14.0%
5	新聞		13.0%	16.0%

【年代別傾向】

- 50～60代は「TV・ラジオ」に頼る傾向が顕著
- 30代までは「美容総合サイト/口コミサイト」「知人の口コミ」も2割前後存在するが、40代以降は1割以下になる

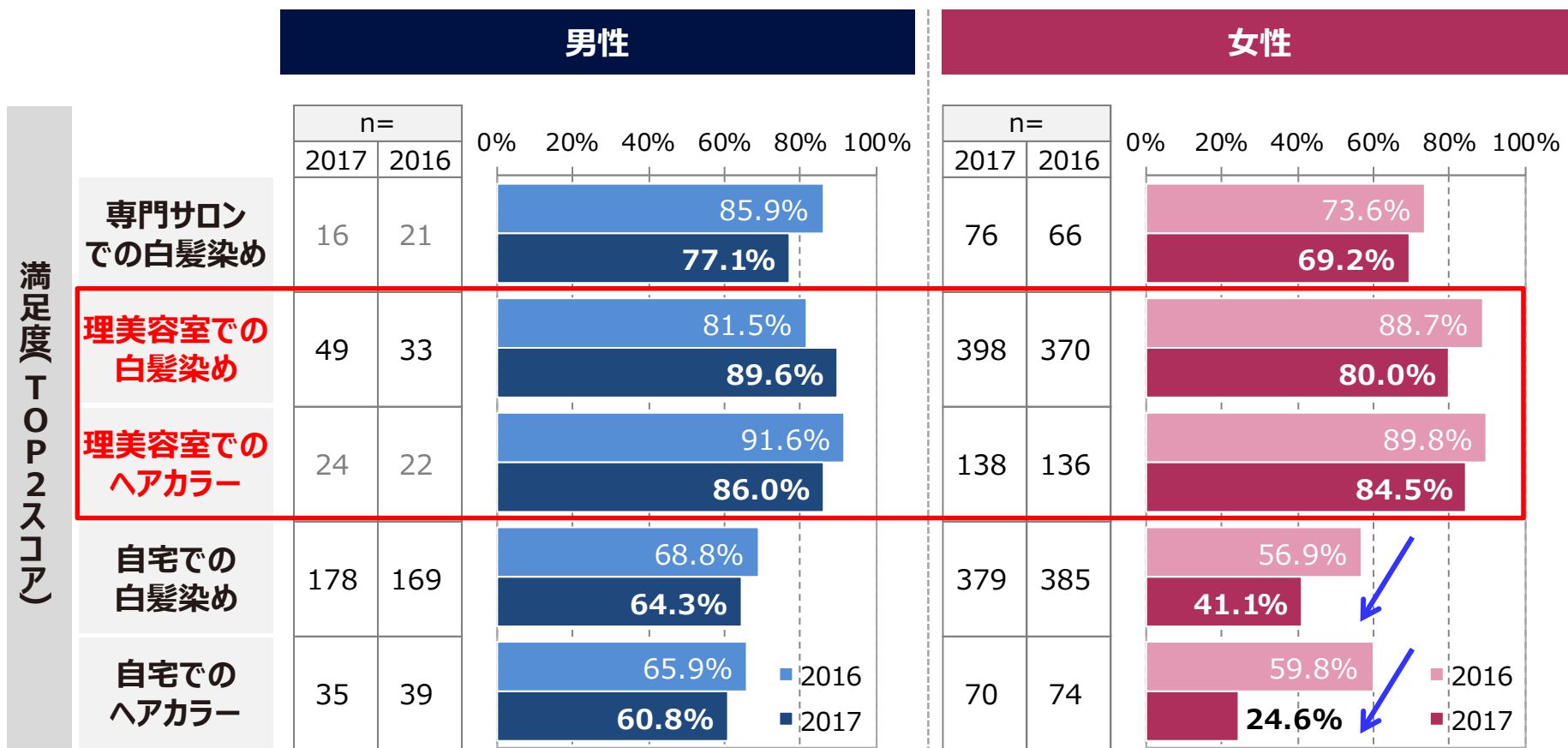
女性			2017	2016
		n=	761	778
1	TV・ラジオ		50.0%	49.2%
2	美容師・理容師に相談する		47.3%	43.5%
3	知人から直接聞く口コミ	↑	27.5%	20.4%
4	インターネット検索		20.9%	19.1%
5	雑誌		20.7%	12.3%

【年代別傾向】

- 40代まではネット検索率も高い
- 60代は「知人の口コミ」「新聞」をよく利用している

A 白髪対策の満足度は？

- 前回同様、自宅染めの満足度に比べて、サロン染めの方が満足度が高め
- 女性はこの染め方も前回と比べて満足度が低下しており、特に自宅染め満足度の低下が顕著



※男女いずれも「n<30」の白髪対策は割愛 ※「n<30」のスコアは参考値

A サロンで白髪染めをする理由/しない理由は？

- 前回同様、サロン染めをする理由は男女ともに仕上がりの良さがトップ
- サロン染めをしない理由は男女ともに価格の高さやかかる時間、行く手間などが上位に挙がる

↑ 前回比5pt以上アップ
 ↓ 前回比5pt以上ダウン

サロンで白髪染めをする理由

男性		2017	2016
n=		72	57
1	仕上がりがきれい	49.5%	45.6%
2	他のメニューがまとめてできて楽	36.8%	38.5%
3	髪・頭皮にやさしい/やさしそう	29.4%	24.9%
4	自分でやるのは面倒	28.5%	32.5%
5	自分でやるより色持ちする	28.1%	24.4%

女性		2017	2016
n=		496	467
1	仕上がりがきれい	67.9%	70.6%
2	自分でやるのは面倒	53.1%	49.2%
3	他のメニューがまとめてできて楽 ↓	38.5%	50.7%
4	自分でやるより色持ちする	37.6%	40.7%
5	自分でできない	34.2%	29.9%

サロンで白髪染めをしない理由

		2017	2016
n=		165	161
1	価格が高い	77.4%	81.2%
2	行くのが面倒	43.5%	42.4%
3	時間がかかる	33.3%	29.4%
4	自分の好きなタイミングでやりたい	15.0%	16.1%
5	自分で染める方が楽	14.2%	11.3%

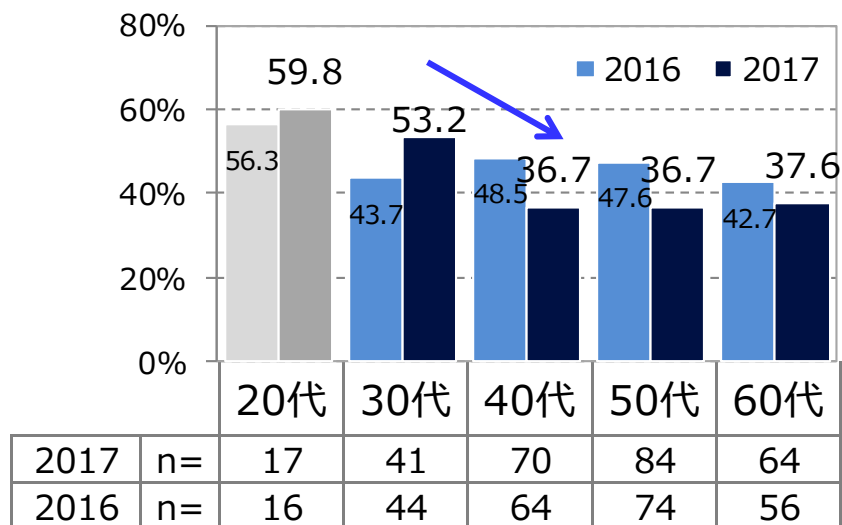
		2017	2016
n=		195	226
1	価格が高い	79.8%	79.9%
2	時間がかかる	49.9%	47.7%
3	行くのが面倒 ↑	44.3%	39.2%
4	自分の好きなタイミングでやりたい	29.4%	30.1%
5	気付いた時にやりたい	28.9%	23.4%

A サロンで白髪染めだけをオーダーするのは抵抗がある？

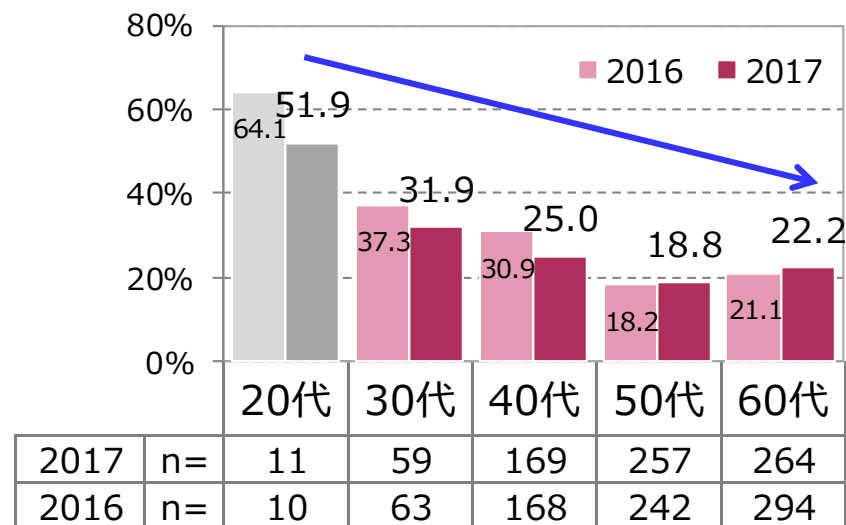
- 女性は年代が高くなるほど抵抗感は薄れる傾向。男性は年代によるラインがあり、30代までは抵抗感が高く、40代以降は抵抗感が低くなる
- 女性は20～40代の比較的若い層で前回より抵抗感が薄れているが、男性は20～30代の抵抗感が増している。反対に、40代以上の男性の抵抗感は低下

美容室・理容室で「白髪染め」だけのオーダーはしづらい (TOP2スコア)

男性



女性



※男女いずれも20代は「n<30」のため、参考値

A 自宅染めで困ることは？

- サロン染めの実施理由で挙げた「仕上がりがきれい」とは対照的に、「ムラなく均一に染められない」という仕上がりに関する不満が多い。また、「洋服や部屋が汚れる」という不満も多い
- 特に、女性は前回に比べ上記2項目のスコアがアップしている

▲ 前回比5pt以上アップ
▼ 前回比5pt以上ダウン

自宅染めで困ること

男性		2017	2016
n=		165	161
1	髪全体をムラなく均一に染められない/染め残した部分がある	44.1%	41.9%
2	溶剤で洋服や、部屋が汚れてしまう	27.8%	29.4%
3	準備や片付けなどの手間がかかる	23.0%	22.8%
4	髪が傷みやすい	22.5%	18.4%
5	新しく生えてきた部分と、既に染めてある部分に色の段差ができる	19.7%	17.4%
	特に困ると感じることはない	11.6%	14.5%

女性		2017	2016
n=		195	226
1	髪全体をムラなく均一に染められない/染め残した部分がある	54.3%	44.4%
2	溶剤で洋服や、部屋が汚れてしまう	30.5%	15.1%
3	染めた部分の色がすぐに落ちて、きれいな髪色が続かない/白髪が見えてくる	29.3%	22.1%
4	準備や片付けなどの手間がかかる	25.5%	21.0%
5	髪が傷みやすい	25.1%	21.0%
	特に困ると感じることはない	10.0%	11.1%

A 白髪の男性/女性へのイメージは？

- 白髪の男性に対して、男性はネガティブなイメージが強いが、女性は「落ち着いている」「シンプル、飾らない」「かっこいい」などポジティブなイメージも挙げやすい。ただし前回と比べると、男女とも「落ち着いている」イメージを持つ人が減った
- 白髪の女性は、男女双方からネガティブなイメージを抱かれやすい

男性

女性

 前回比5pt以上アップ
 前回比5pt以上ダウン

白髪の男性へのイメージ

		2017	2016
n=		275	254
1	老けてみえる	73.4%	69.7%
2	疲れてみえる 	37.0%	31.5%
3	地味	22.0%	20.0%
4	落ち着いている	15.1%	19.8%
5	シンプル、飾らない	13.8%	13.6%

		2017	2016
n=		761	778
1	老けてみえる	53.2%	55.9%
2	落ち着いている 	29.2%	35.8%
3	シンプル、飾らない	26.8%	28.1%
4	疲れてみえる	15.1%	17.2%
5	かっこいい、素敵	14.8%	13.6%

白髪の女性へのイメージ

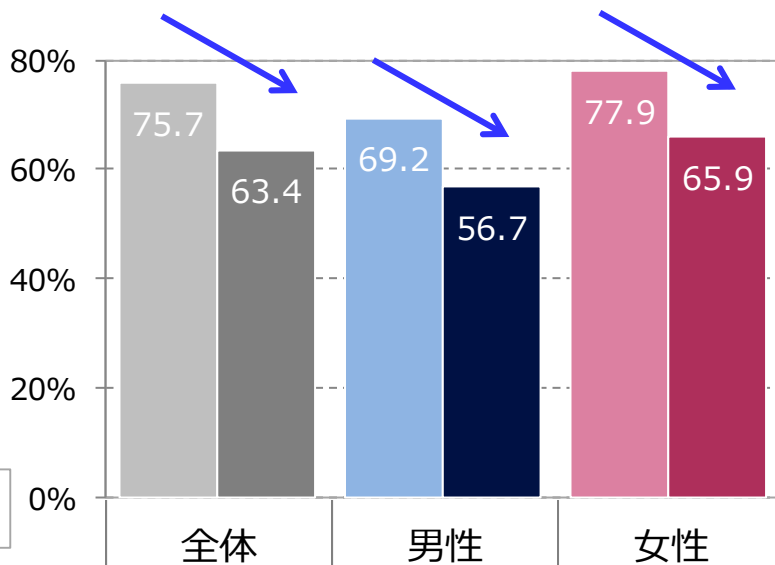
1	老けてみえる	73.4%	74.1%
2	疲れてみえる 	40.9%	35.0%
3	地味	25.5%	21.5%
4	身なりに手を抜いている	18.3%	17.6%
5	好感が持てない	13.8%	12.7%

1	老けてみえる	73.6%	76.8%
2	疲れてみえる	39.5%	40.0%
3	地味	23.2%	22.9%
4	身なりに手を抜いている	21.2%	21.9%
5	シンプル、飾らない	18.2%	20.0%

A 白髪へのイメージは？

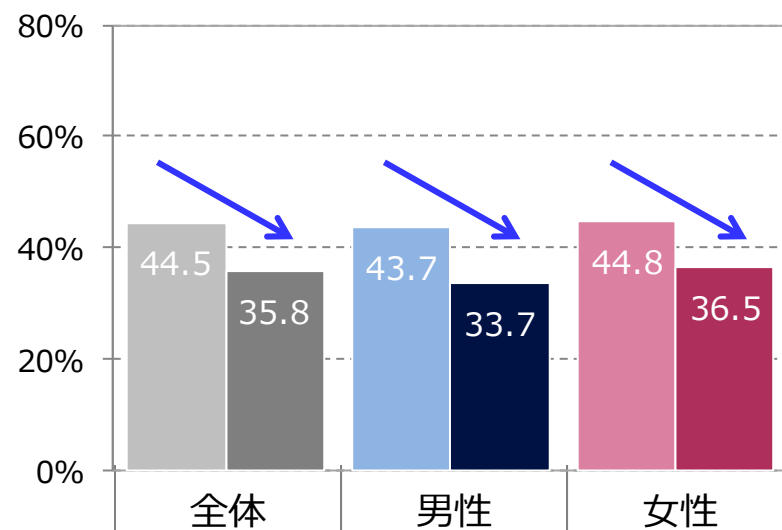
➤ 前回に比べ「見せ方によっては素敵」「自分もまねしたい」と考える人は減っており、白髪をポジティブに捉える傾向が弱まっていることが分かる

白髪も、見せ方によっては
素敵な印象を与えと思う
(TOP2スコア)



2017年調査	n=	1036	275	761
2016年調査	n=	1032	254	778

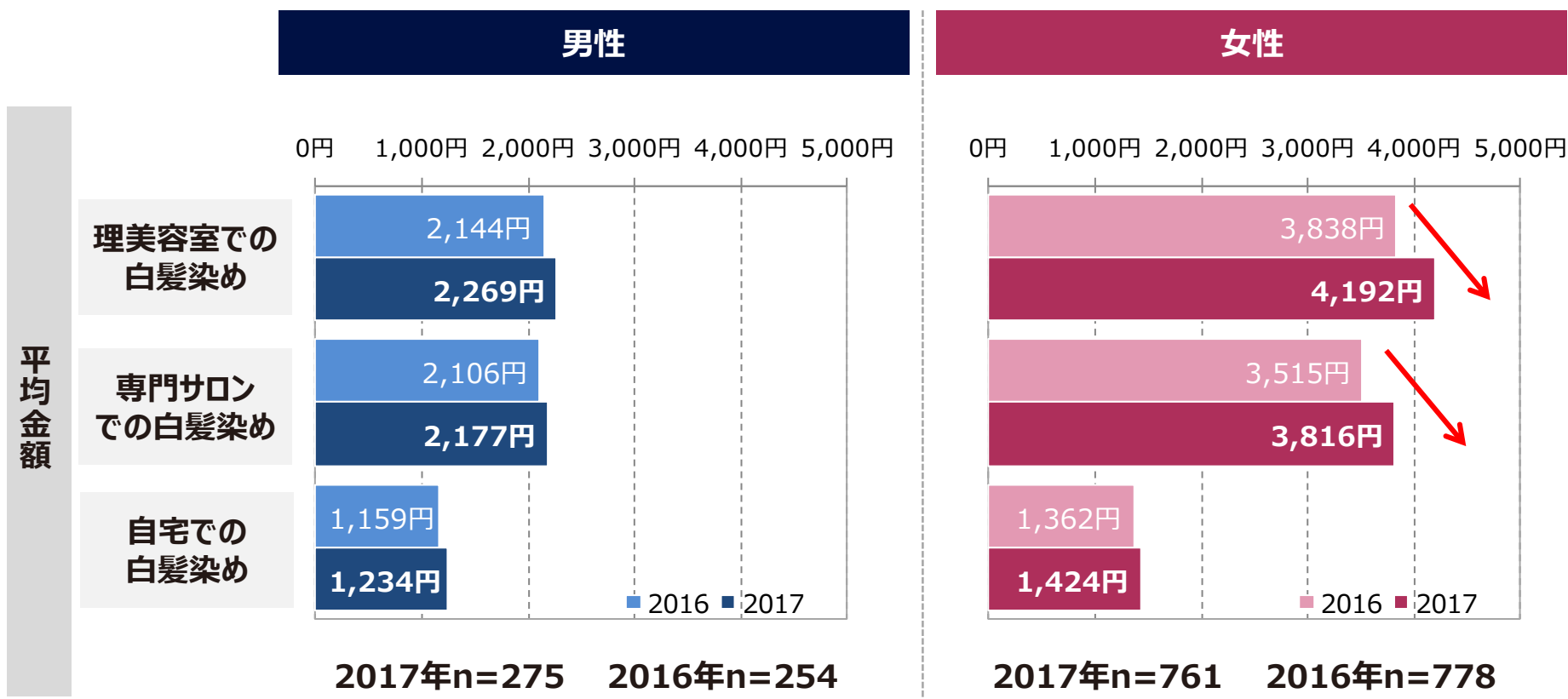
おしゃれな白髪の人を見ると、
自分もまねをしてみたいと思う
(TOP2スコア)



2017年調査	n=	1036	275	761
2016年調査	n=	1032	254	778

A 白髪染めにかけてもよい金額は？

- 白髪染めにかけてもよい金額は、理美容室・専門サロンでは男性平均2,000円強、女性では平均4,000円前後。自宅では平均1,000円強である
- 女性の理美容室・専門サロンにおける許容額がやや上がっている



A 白髪が素敵な有名人は？

- 男性有名人は50歳前後の人も想起されるが、女性有名人は70～80代の年代が高めの人が想起されやすい
- 想起される上位の顔ぶれは前回とほぼ同様

全体

白髪が素敵な男性有名人

		2017	2016
n=		1036	519
1	吉川晃司（51歳）	15.3%	32.6%
2	岩城滉一（66歳）	14.7%	21.8%
3	高田純次（70歳）	5.4%	18.1%
4	渡部篤郎（49歳）	2.8%	8.0%
5	玉置浩二（58歳）	2.5%	7.5%

<6位以下>

- ・ 舘ひろし
- ・ 坂本龍一
- ・ 関口宏
- ・ 北大路欣也
- ・ 佐藤浩市 ……など

※男性有名人の2016年データは
選択肢を提示して聴取しているため参考値

白髪が素敵な女性有名人

		1036	1032
n=			
1	草笛光子（83歳）	24.9%	29.1%
2	樹木希林（74歳）	10.7%	10.9%
3	中尾ミエ（71歳）	9.5%	7.6%
4	加藤タキ（72歳）	3.6%	1.2%
5	八千草薫（86歳）	2.4%	1.0%

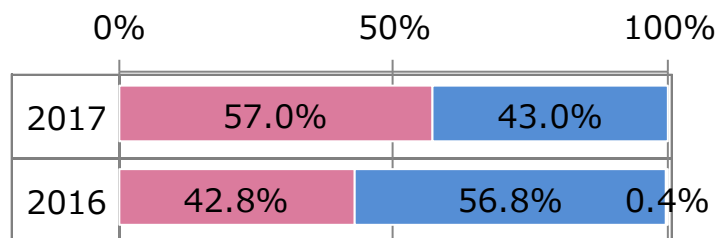
<6位以下>

- ・ 野際陽子
- ・ 佐伯チズ
- ・ 夏木マリ
- ・ 宮本信子 ……など

- 男性は過半数が「染めてほしいと言う」のに対し、女性の3/4は「何も言わない」
- 染めてほしい理由としては「若々しくいてほしい」、何も言わない理由としては「本人の自由」という意見が男女いずれも多い

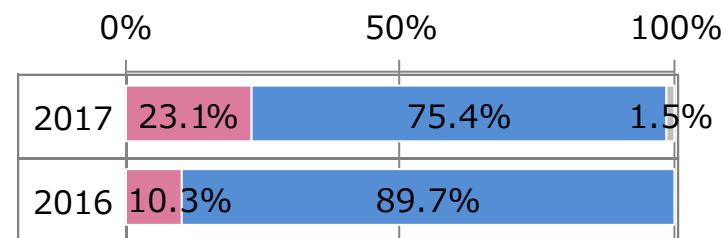
男性

■ 染めてほしいと言う ■ 何も言わない ■ その他



女性

■ 染めてほしいと言う ■ 何も言わない ■ その他



パートナーへの ケア意向

		2017	2016
n=		275	128
1	若々しくいてほしいので、 染めてほしいと言う	38.5%	42.8%
2	本人の自由だと思うので 何も言わない	21.6%	27.7%
3	ステキでいてほしいので、 染めてほしいと言う	18.5%	—
4	すでに染めているので、 何も言わない	7.7%	10.2%
5	特に気にならないので、 何も言わない	5.2%	7.4%

		2017	2016
n=		514	391
1	本人の自由だと思うので 何も言わない	39.1%	48.6%
2	若々しくいてほしいので、 染めてほしいと言う	16.2%	10.3%
3	特に気にならないので、 何も言わない	14.9%	12.6%
4	そのままでもステキであれば、 何も言わない	14.2%	15.9%
5	ステキでいてほしいので、 染めてほしいと言う	6.9%	—

※2016年は「ステキでいてほしいので、染めてほしいと言う」は非聴取

	男性	女性
白髪が 気になり出した/ 染め始めた/ 白髪染めを 続けたい年齢	• 気になり出した年齢・白髪染めを始めた年齢は女性よりやや早め • 白髪染めをずっと続けたい人は3割弱と女性より少なく、白髪染めを止めるタイミングも女性より早め	• 気になり出した年齢・白髪染めを始めた年齢は男性よりやや遅め • 白髪染めを長く続けたい意識が男性より高い
気になる目線	• 「職場の異性」「異性の友人」など同性よりも異性の目が気になる	• 「他人の目すべて」気になる人が5割弱と多い • 「同性の友人」の目が気になりがち
白髪染めの タイミング	• 「自分が気になったとき」がトップ • 「大事なイベント前」は少ない	• 「大事なイベント前」が多い • 【前回比】「気になった時」「定期的」がアップ
染める理由	• 「若く見られたい」「良い印象を持たれたい」「イメージを変えたい」など、プラスイメージに変えたいという理由が大きい • 【前回比】「自分自身が気になる」がアップ	• 「自分自身が気になる」が最も多い • 「身だしなみとして必要」などマイナスイメージを持たれないためという意識が強い • 【前回比】「自分自身が気になる」「身だしなみとして必要」がアップ

	男性	女性
現在の 白髪対策	・自宅染めの実施率が高い ・【前回比】60代のサロン染め実施率がアップ	・自宅染めとサロン染めの実施率が同じくらい ・【前回比】「スティックタイプの白髪隠し」の実施率がややアップ
やってみたい 白髪対策	・サロン染めが高め	・サロンでのヘッドスパ・マッサージ、ウィッグが高め ・【前回比】「カラー専門サロン染め」の利用意向がアップ
白髪対策の 情報源	・「TV・ラジオ」がトップだが、「ネット検索」「バナー広告」などネット上の情報も女性より活用 ・【前回比】「ネット検索」がアップ(特に50～60代の高齢層)	・「TV・ラジオ」「理美容師に相談」が多い ・【前回比】「知人の口コミ」「雑誌」がアップ
白髪対策の 満足度	・女性よりも満足度が高め ・【前回比】「サロン染め」は満足度がアップした一方、「自宅染め」は満足度がダウン	・男性よりも満足度が低め ・【前回比】染め方にかかわらず、全般的に満足度がダウン
サロン染めを する理由	・「仕上がりがきれい」が最も高いが、女性よりは低め	・「仕上がりがきれい」「色持ちする」など仕上がりの良さへの評価が高い ・【前回比】「他メニューとまとめられて楽」がダウン

	男性	女性
サロン染めをしない理由	• 「価格の高さ」が大きな理由	• 「時間がかかる」「好きなタイミング・気づいたときにできない」など、時間やタイミングの融通が利きにくい点がネックになる人が多い • 【前回比】「行くのが面倒」「気づいたときにやりたい」「頻繁に行く必要がある」がアップ
サロンで白髪染めのみオーダーする抵抗感	• 年代が低いほど抵抗感が強い • 【前回比】30代の抵抗感がアップ、40～60代の抵抗感はダウン	• 年代が低いほど抵抗感が強い • 【前回比】30～40代の抵抗感がダウン
自宅染めで困ること	• 「ムラなく均一に染められない」といった仕上がりにへの不満が最も大きい	• 「ムラなく均一に染められない」といった仕上がりにへの不満が最も大きい • 全般的に男性よりスコアが高く、不満が多い • 【前回比】仕上がりの不満や、部屋が汚れることへの不満がアップ

	男性	女性
白髪の男性へのイメージ	・「老けてみえる」が7割強でトップ。女性よりもネガティブイメージが強い ・【前回比】「疲れてみえる」がアップ	・「老けてみえる」が5割強で最も高いが、「落ち着いている」「シンプル」「カッコいい」などポジティブイメージも上位に挙がる ・【前回比】「落ち着いている」がダウン
白髪の女性へのイメージ	・白髪男性のイメージ同様、「老けてみえる」が7割強でトップ	・白髪男性のイメージよりも、ネガティブなイメージが上位に挙がりやすい
白髪へのイメージ	・【前回比】「見せ方によっては素敵」「おしゃれな白髪はマネしたい」などポジティブなイメージがダウン	
白髪染めにかけてもよい金額	・女性より低く、自宅染めで1,000円強、サロン染めで2,000円強	・男性より高めで、自宅染めで約1,400円、サロン染めで4,000円前後 ・【前回比】サロン/専門サロン染めの額がアップ
パートナーへのケア意向	・「若々しくいてほしいので染めてと言う」が4割弱でトップ	・「本人の自由なので何も言わない」が4割弱でトップ

男性

女性

サロン利用
アップへのヒント

【男女共通の打ち手】

- **自宅染めで満足度が低く、サロン染めでの評価が高い「仕上がりのキレイさ」を訴求**
 - ✓ 自宅染めの不満として**仕上がりの悪さ**が多く挙がる一方、**サロン染めの仕上がりの良さ**への評価は高いため、「仕上がりのキレイさ」を訴求すると自宅染めからの移行や併用が増える可能性がある
- **白髪染めだけのオーダーがしやすい雰囲気作り**
 - ✓ 40代～60代男性や、30～40代女性の白髪染めのためのオーダーへの抵抗感はやや薄まったものの、依然として**抵抗感を抱く層が一定数**いるため(特に若年層で抵抗感が強い)、メニュー表やWebサイトなどに**白髪染め単品オーダー**歓迎の旨を記載するなどのフォローをすることで、**抵抗感を弱めることが必要**



サマリー編

～薄毛調査⇔白髪調査～

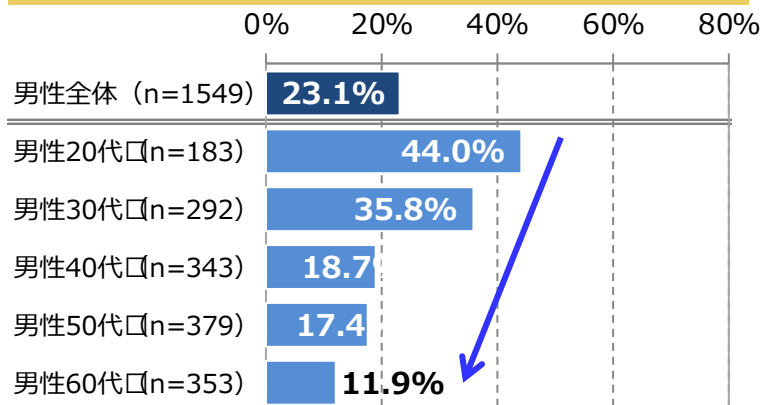
A 同じ悩みの人と薄毛・白髪を分かち合いたいのか？

- 薄毛よりも白髪の方が分かち合いたい人が多い
- 薄毛・白髪ともに基本的に若年層の方が分かち合いたい傾向が強い

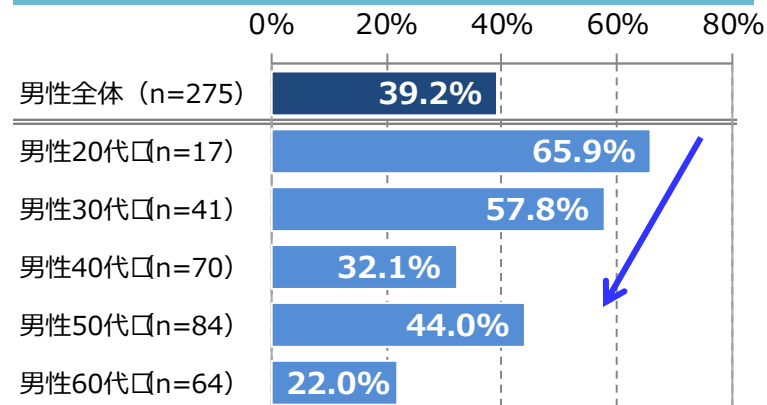
同じ悩みの人と分かち合いたいと思う
(TOP2スコア)

男性

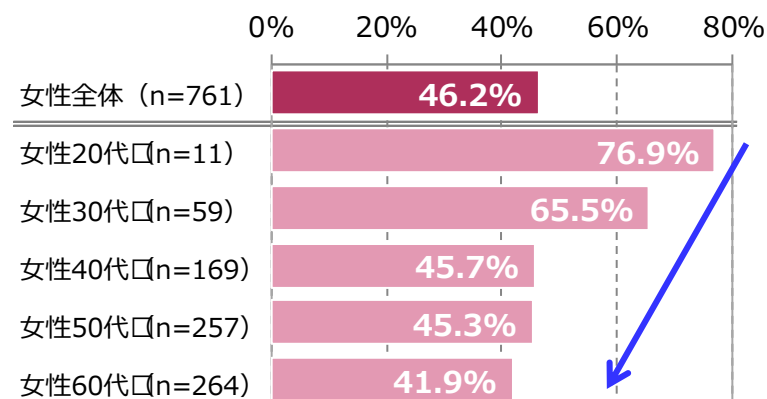
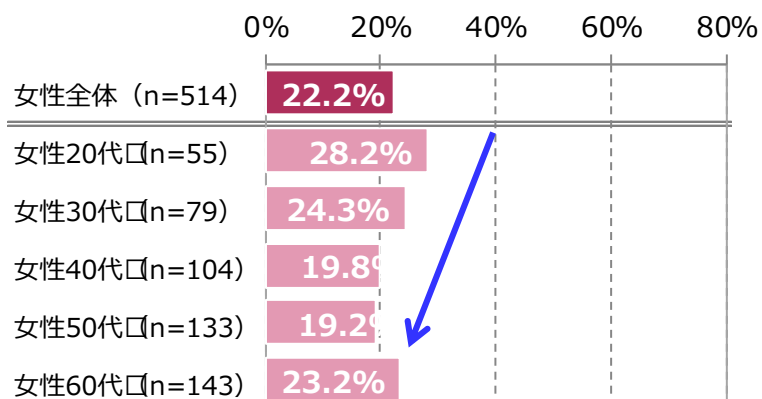
薄毛



白髪



女性



A 同じ悩みの人に薄毛・白髪の話をも自分から話したいか？

- 男性はどの年代でも白髪の方が「自分から」話したい人が多い
- 女性は薄毛・白髪で大きな違いは無いが、40～60代は白髪の方が「相手から」を望む人が多い

